

## 第74回福島県立田村高等学校卒業式

### 校長式辞

松径坂に降り注ぐ日差しが日々優しくなり、命の躍動する春の訪れを感じる季節となってきた今日のよき日、保護者の皆様の御列席のもと、第74回卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、教職員一同にとりましてこの上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、普通科156名体育科38名、計194名の卒業生に対しまして、高等学校の全課程を修了し、本校における学業を成就したことの証（あかし）として、栄えある卒業証書を授与いたしました。

皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、本校での3年間の多くをコロナ禍の中で過ごすことになりました。しかし、皆さんは学習や部活動での様々な制約を前向きに受け入れ、卒業の日を迎えることができました。私は、皆さんのその真摯な姿こそ、田村高校の誇りであると感じています。

また、保護者の皆様、お子様の御卒業誠におめでとうございます。高校3年間は様々な状況の中で人間関係を構築するなど、悩み多い時代であります。それだけに多くの経験を重ね、幾多の試練に耐えてこのように立派に成長したわが子の姿を目の前にして、感慨もひとしおではないでしょうか。心からお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、私は、皆さんと共に過ごし、多くのことを感じる事ができました。4月には、滝桜の観光ボランティアを行い、来場者にアンケートを実施、その結果を三春町に提言し、町の観光活性化に一役買いました。

また、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、インターハイが中止となり先輩方の悔しさを目の当たりにしました。今年度は、無事開催されましたが、皆さんは、先輩方の想いを忘れることなく最高学年として、リーダーシップを発揮し後輩に田高魂を見せつけてくれました。修学旅行・マラソン大会の中止、更には、3年に一度の松径祭も一般公開ができなくなり学校全体が自粛ムードを強いられました。しかし、そのような中でも3年生それぞれのクラスが数少ない学校行事を楽しむためにクラス一丸となって披露したパフォーマンスを、忘れる事ができません。そして、皆さんは、自分自身の進路目標を実現するために果敢にチャレンジをしてくれました。

校長室に、推薦願を持参し、進学・就職の決意を述べる皆さんの表情は希望に満ち溢れていました。合格・内定をいただき、安堵し、目を潤ませた生徒もいました。

また、一度決めた進路先をもう一度自分自身に問いかけ本当にやりたい事を見つけ出し、勇気ある変更を決断した人もいました。皆さんが、保護者の方は勿論、こ

の田村高校でしか出会えなかった友人・先生方から多くのサポートを受け、それぞれの進路を決定し、挑み、未来の扉を開いてくれたこと、本当にうれしく思います。

今、日本は本格的な人口減少や高齢化社会の進行、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により社会や職業の在り方そのものも大きく変化しています。この変化の激しい時代に、皆さんには高い志や意欲を持つ、まさに本校校訓にもある「自律」した人間として他者と協働しながら新たな価値の創造に挑戦し、未来を切り拓いていくことが求められています。

皆さんの潜在能力は、私たち大人や皆さん自身が思っている以上に、優れたものがあると私は信じています。そのような思いを込めて、人生の新たな出発をされる皆さんに伝えたいことがあります。医学博士の武神健之（たけがみ たけゆき）氏は、ストレスに強い人の特徴として「非認知能力」が身につけているといいます。認知能力とはテストの点数や偏差値など数値で測定可能なものを指しますが「非認知能力」は数字だけでは測れない勤勉性、協調性、好奇心、責任感、柔軟性、忍耐力、挨拶など数値だけでは表せない、総合的な人間力を意味します。

この「非認知能力」を身につけている人の共通点としては

- ・物事に対し純粋に気持ちいい、またはうれしいと感じる気持ちがある
- ・達成感や悔しさなど挑戦や試行錯誤の後に得られるものがあることを経験している
- ・1人ではできなくても、仲間との協力やおもいやりで乗り越えられる

という3つの感情があるということです。皆さんは、この共通点3つを田高生活の中で、すでに身につけてはいませんか。つまり、皆さんは、既にストレスに打ち勝つための「非認知能力」という最大の武器を持ち合わせているということです。

どうか、田村高校で学び通した自分自身に、自信と誇りを持ち、自己肯定することを忘れず、新たな未来への一步を踏み出してください。

そして、皆さんに与えられた「命」を大切にし、生きることこそが自分の価値であるために、逞しく、歩んでくれることを心から期待しています。

結びになりますが、我々、教職員はこれからも、たゆみなく、伝統ある田村高等学校の教育の充実・発展のため、更には保護者の方々や地域に信頼され、田高の存在価値が更に高まるよう邁進してまいりますので、今後とも、在校生の活躍を注視し、御支援くださいますよう、お願い申し上げます。

令和4年3月1日

福島県立田村高等学校長 尾形 幸男